

令和6年2月19日

豊洲市場における日本産水産物PRの概要について
(輸出先多角化、能登半島地震からの復興に向けた取組)

2月19日(月)、豊洲市場において、ASEAN加盟国のうち、日本からの水産物の輸出実績の多い国であるインドネシア、シンガポール、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシアの在京大使館の大使、大使館員等に対して北海道及び北陸産の日本産水産物の魅力を紹介し、ASEAN地域への輸出拡大・輸出先多角化を図るとともに、石川県能登半島地震からの復興につなげるための取組を行いました。

日 時：2024年2月19日(月) 5:00～8:00

場 所：豊洲市場

参加者：インドネシア、シンガポール(※)、タイ(※)、フィリピン、
ベトナム(※)、マレーシアの在京大使館(※の国は大使が参加)

内 容：マグロのせり現場の見学、水産仲卸業者における水産物の紹介、さかなクンによる講演、北海道・北陸産水産物の試食

紹介した水産物：

- ・水産仲卸業者(山治)：ホタテ(北海道)、赤ナマコ(石川県能登)、もずく(石川県七尾)、サバ、イワシ(石川県)、ブリ(富山県氷見)、ホタルイカ(富山県)
- ・試食：ホタテ(北海道)、青ナマコ(石川県)、ブリ(富山県氷見)

- 1 坂本農林水産大臣から参加各国大使等に対し、ASEAN地域への輸出先多角化及び能登半島地震からの復興支援後押しにつなげる本取組の趣旨をお伝えし、各国への日本産水産物の輸出拡大に向けた積極的な紹介や発信を呼びかけました。
- 2 マグロのせり現場において、大使等参加者は水産物取引の活発さや鮮度管理が行き届いている様子を興味深く見学しており、また輸出に取り組む水産仲卸業者山治の店舗では北海道産ホタテや北陸産ナマコ等の水産物の紹介を通じて日本産水産物の品質の高さを実感いただきました。
- 3 さかなクンによるイラストを描きながらの講演には参加者も熱心に聴きいっており、ホタテとナマコの生態や特徴への理解を深めていただき、またホタテ・ナマコ・ブリの試食を通して北陸産を含む日本産水産物の魅力や美味しさを体感いただくことができました。



坂本農林水産大臣による挨拶



マグロのせり現場見学



水産仲卸業者における水産物紹介



さかなクンによる講演



北海道・北陸産水産物の試食



参加国大使等との集合写真

(内容についてのお問い合わせ先)
 農林水産省 輸出・国際局 輸出企画課
 担当者：須田、鈴木
 代表：03-3502-8111 (内線 4032)
 ダイヤルイン：03-6738-7899